2025年 日化協 L R I 研究報告会プログラム 案

開催日時： 2025年8月29日（金） 10:00～17:00
 開催方法： 東京証券会館 およびWebexによるオンライン配信

敬称略

<午前の部>	
10:00-10:05	開会挨拶 進藤 秀夫（一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事）
第12期終了研究課題の報告 座長：TBA（***株式会社）、****（株式会社****）	
10:05-11:45	ヒトiPSレポーター細胞を用いたシグナルかく乱を指標とする発生源毒性試験法 代表研究者 福田 淳二（横浜国立大学大学院 工学研究院 教授）
	生理学的薬物動態モデルを用いる化学物質のデータ駆動型ヒト体内ばく露量予測手法の開発 代表研究者 山崎 浩史（昭和薬科大学薬物動態学研究室 教授）
	マイクロプラスチックのベクター効果推定モデル構築と実環境中での予測の試み 代表研究者 大嶋 雄治（九州大学大学院 農学研究院 教授）
	反復投与毒性の評価のための統計学的・数理科学的アプローチによる客観的なリードアクロス手法の開発 代表研究者 吉成 浩一（静岡県立大学薬学部 衛生分子毒性学分野 教授）
	リスク評価に寄与するマイクロプラスチック生成の機構・速度の解明および標準マイクロプラスチックの調製 代表研究者 比江嶋 祐介（金沢大学理工研究域フロンティア工学系 准教授）
11:45-12:45	昼食休憩
<午後の部>	
LRI賞 受賞者講演 座長：TBA（****株式会社）	
12:45-13:25	ヒトiPS細胞由来肝細胞の3次元凝集制御による肝代謝機能の強化 【日本動物実験代替法学会 第9回LRI賞】 小島 伸彦（横浜国立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 生命環境システム科学専攻 教授）
	環境化学物質の毒性研究から紐解かれた生体の防御システム 【日本毒性学会 第11回LRI賞】 田口 恵子（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授）
13:25-13:30	第13期研究課題ポスター発表に関する事務連絡
第13期採択中の研究課題の進捗報告（ポスター発表）	
グループ A コアタイム 13:30-14:05	閉鎖性海域 大阪湾をモデルケースにしたMPの生態リスク評価 堀江 好文（神戸大学 海洋環境管理研究室 教授）
	マイクロプラスチック汚染のリスク対策に資する環境負荷量・発生源解析と環境リスク評価の実践 内藤 航（産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター 生態影響・対策技術評価研究チーム チーム長）
	魚類消化管内 MP 直接投与法による MP の体内動態およびそれに伴うベクター効果の検証と定量的評価 羽野 健志（水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境応用部門 環境保全全部 化学物質グループ 主任研究員）
	マイクロプラスチックの水生生物への影響に係る特性解析と生態毒性試験に関する新たな指針の提案 鎌迫 典久（愛媛大学大学院 農学研究科 教授）
	プラスチック資源循環に資するリスクベースの再生プラスチック等級の設定とその適用に関する検討 小野 恭子（産業技術総合研究所 サークュラーテクノロジー実装研究センター 副研究センター長）
	定量的ターゲット分析を基にした再生プラスチックに含まれる化学物質の包括的なリスクスクリーニング手法の開発 徳村 雅弘（静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科 物性化学研究室 助教）
	ゼブラフィッシュを用いた催奇形性評価の代替法開発 平田 普三（青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科 教授）
グループ B コアタイム 14:05-14:40	酸化ストレスと神経炎症を介した発達神経毒性の新たな AOP 解明 西村 有平（三重大学大学院 医学系研究科 統合薬理学分野 教授）
	生物利用可能性を考慮した生態リスク評価手法の開発 加茂 将史（産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター 生態影響・対策技術評価研究チーム 主任研究員）
	神経毒性・発達神経毒性試験の代替法のOECD TG提案を目指したAOP475公定化のためのバリデーション研究 關野 祐子（東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授）
	ヒトTh2細胞からのIL-4産生を指標に呼吸器感受性を評価する共培養系の開発 善本 隆之（東京医科大学医学総合研究所 免疫制御研究部門 教授）
14:40-14:50	休憩
シンポジウム：「日化協LRI 25周年：安全性評価技術の深化への歩み」 座長：須方 督夫（一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事）	
14:50-16:10	環境省の化学物質管理政策と関連する技術開発の取組について（仮） 塚田 源一郎（環境省 化学物質安全課 課長）
	経済産業省における化学物質管理制度の効率化・高度化等について（仮） TBA（経済産業省 化学物質管理課）
	JaCVAMにおける動物実験代替法の公定化と行政活用への取り組み 足利 太可雄（国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター ゲノム安全科学部第四室 室長）
	これまでの歩みと今後の展望：LRIが目指す安全性評価の深化 小川 良二（LRI研究戦略企画部会リーダー 株式会社レゾナック）
16:10-16:50	総合討論 ファシリテータ：須方 督夫（一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事）
16:50-17:00	閉会挨拶 小田原 恭子（LRI運営委員会 委員長）